

松禪寺報

第90号

<https://syozen.com>
<https://www.facebook.com/syozenji>
発行日 令和2年9月25日

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰
〒668-0363
兵庫県豊岡市但東町栗尾469
電話 0796-55-0034
FAX 0796-55-0066
Mail kenpou@syozen.com



お別れの仕方

非常な苦しみのことを「四苦八苦」といいますが、この「四苦八苦」というのは、「生・老・病・死」のことで、仏教では人生の苦悩の根本原因はこの「生・老・病・死」

の「四苦」にあると教えています。「生」はもちろん、この世に生を受けるといふこと、「老」は老いること、「病」は病にかかるといふこと、「死」は、いつかこの世を去っていくといふことです。この「生老病死」は、自分が願っても願わなくても、向こう側から必ず来る苦しみです。自分から病

気になろうという人はいないでしょうが、気がついたら重い病気に冒されていたと気づくことになります。「死ぬことを忘れていてもみんな死に」という言葉があるように…。

お年寄りには「死」についてこう言います。ぽつくり逝きたい、子どもにも迷惑をかけたくない…と。これも自然な気持ちの表れだと思えます。人は誰でも最後の時を迎えますが、いざという時のお別れの仕方というものには、自分の思うようにはならないでしょう。

そのお別れの言葉で大切なのは、一つは感謝の言葉だと思います。「長い間、ありがとう」といういたわりの言葉をかけるとか、「いろいろと苦労をかけたね」とねぎらいの一言を残すということとで、後に残される者がどんなに報われた思いがすることでしょう。また、「兄弟みんな仲良くして…」とかいう励ましの言葉も大切だと思います。

心は言葉にあらわれるわけですが、最後の時に、安らかな心でいいお別れができれば、こんな素晴らしいことはありません。

ただ、最後のお別れは自分の思うようにはならないと言いましたね。じゃあ、だめじゃないかと思われるかもしれませんが、そのためには普段からの言動が何よりも大事だということでしょう。一生精進ということですね。



コロナ禍のもと施餓鬼法要を厳修 マスク着用、手指の消毒、密を避けて一軒毎に入れ替え制で実施

新型コロナウイルスの影響で、今年の施餓鬼会法要には住職方の出頭を制限して行う寺院が多い中、松禪寺では手指の消毒、マスク着用、住職方にはマウスシールドの着用、間隔を開けての着席などの方法を取り、8月7日(金曜日)午前10時より施餓鬼法要を執り行いました。法要には和尚様方5人、住職と兄(徒弟)が出頭して厳修いたしました。今年は7霊位の初盆施餓鬼のほか、檀信徒各家の先祖供養、鶏魂供養を例年どおり行いました。また、今年は総代会の発案によって、本堂



▲一座毎に参拝者の入れ替えを行いました



▲新調した施餓鬼棚で気持ちも新たに法要を実施

前に設置する施餓鬼棚を新調いたしました。施工は、栗尾の藤田建設様にお願いたしました。これまでの施餓鬼棚はいつ作成されたかは不明ですが、先々住職時代のものと思われ、老朽化で歪みもひどくなっていました。新しい施餓鬼棚で気持ちも新たに法要に臨む事ができました。お参りいただき皆さんも出来る限り少人数でお願いしましたが、お寺の行事もその内容を変更せざるを得ないことも出て

きました。例えば本堂で大人数が密にならないように、今年の施餓鬼会は1件1座で行い、当家が終わればすぐにお帰りいただきました。暑い中で汗びっしょりになりながらも、参拝者全員で初盆の霊位とともに各家のご先祖様、有縁無縁の霊をも供養する施餓鬼会の意義は忘れないようにしたいものです。



第2回境内掃除に12名のご協力

ありがとうございます

お盆も間近に迫った7月26日(日)、今年二回目となる境内掃除を行いました。連日の梅雨空でしたが、この日の午前は雨も降らず、午前8時から10時までの2時間、草刈りなどの作業に精を出して頂き、本堂のガラス拭きもお願いしました。

今回協力してくださったのは、総代(責任役員)さん5人をはじめ、清滝、本城、柴地、大貝、佐田、石原、久畑の各評議員さん6名と有志1名、総勢12名の皆さんでした。お陰様で8月7日の施餓鬼会には、参拝者皆さんを気持ち良くお迎えすることができました。

有り難うございました。

この作業を終えてから総代(責任役員)さん方には、今回総代会の発案で新調した施餓鬼棚が施工業者である藤田建設から納品されたため、組立などを行っていただきました。



▲草刈りに励む皆さん=7月26日



この作業を終えてから総代(責任役員)さん方には、今回総代会の発案で新調した施餓鬼棚が施工業者である藤田建設から納品されたため、組立などを行っていただきました。

秋彼岸法要を執り行いました



▲参拝者皆さんと一緒に読経しました= 9月22日

彼岸中日を迎えた9月22日、松禪寺では秋彼岸法要を執り行いました。春彼岸に続き今回も、御斎の弁当は無くして法要のみの彼岸会となりました。約20名あまりの参拝者皆さんには、手指の消毒とマスク着で臨んでいただきました。

法要は午前10時より参拝者全員で読経、焼香をして先祖様に感謝の意を伝えました。

読経後は、今年米寿を迎えられた方々のお名前をご披露申し上げ、参拝者全員で祝いました。

祖先が残したさまざまな命と暮らしに感謝した、お彼岸法要でした。



▲彼岸会当日にお参りいただいた米寿の皆さん。皆さんマスクを着用しての写真でしたので、どなたかわかりますか？

施餓鬼会

幢幡高映仏堂前
知是施食開法筵
甘露門頭香一炷
幽魂安坐界三千

餓鬼招きの旗が仏堂の前に空高く映えているこの旗に施食会の法要が開かれることを知る甘露の法門に香を焚き死者の霊魂は仏の世界に穏やかに安座せられる

ご長寿おめでとうございます 米寿のお祝いを伝達しました

妙心寺派花園会本部への申請により、今年米寿を迎えられた6名の皆さんに、妙心寺派管長・小倉宗俊老大師より寿詞と輪袈裟をいただきました。併せて松禪寺花園会から、寿詞を入れる額縁をそれぞれ贈呈させていただきました。誠にありがとうございます。

お家に長寿の方々が居られるのは家庭和樂のもとであり、一家繁栄の瑞兆とお祝い申し上げる次第です。ますますのご長寿を保たれるようお願いいたします。

◎米寿

- 栗尾 藤田 優様 (昭和8年生まれ)
- 栗尾 藤田多磨恵様 (昭和8年生まれ)
- 横須賀市 岡田 幸子様 (昭和8年生まれ)
- 栗尾 西垣ひろみ様 (昭和8年生まれ)
- 佐田 平石 貞雄様 (昭和8年生まれ)
- 久畑 浅田 肇様 (昭和8年生まれ)

※お願い

お寺では檀信徒皆さま全員の生年月日を把握していません。今年米寿88歳を迎えられる同居家族が居られましたら、ぜひ住職までお知らせ下さい。数え年でお祝いをしています。が、年齢が過ぎていても構いませんので、ぜひ一報ください。お祝いの品を妙心寺派花園会本部へ申請いたします。

境内のコウヤマキの上部を伐採



本堂前に高くそびえたコウヤマキ(高野楨)がありますが、あまりにも高くそびえたため、シルバー人材センターに属しておられる総代の樫本新二さんに9月9日、上部を伐採していただきました。是れで強風で倒れる心配もなくなり、境内も明るくなりました。ありがとうございます。



達磨忌・開山忌のご案内

11月3日(文化の日)
午前10時より



来る11月3日(火)、松禪寺では達磨忌と開山忌を営みます。達磨大師は、禅宗の開祖です。南インドの小国の王子として生まれ、後に出家して菩提達磨と名を改めます。禅を伝えるために中国に渡り、洛陽の少林寺で面壁して坐禅すること9年に及んだと言われています。次に、松禪寺は来翁祖諱和尚大禪師を開基として、禪師の師である一笑禅慶和尚大禪師を勧請開山としています。10月20日を忌日としております。この達磨忌と開山忌を次のとおり執り行いますので、ぜひお参りください。とき 11月3日(火/文化の日) 午前10時より法要 場所 松禪寺本堂 ※恐れ入りますが、マスク着用でご来山ください。

護持会

会費(後期分)の
納入にご協力願います

9月は松禪寺護持会費の通常会費(後期分)をお願いする月です。松禪寺花園会は檀信徒の皆様方の、護持と発展を願う護持会費で運営しています。各評議員さんより納入の依頼がありますので、何卒ご協力の程よろしくお願います。遠方の皆様には郵便局の払込取扱票をお送りいたします。

なお、賛助会員の方々へは本年2月に納入依頼済みですので、後期分の請求はございません。未納の方は、早めに納入してくださいますようお願いいたします。